

令和8年度 探究型中央研修 特定課題探究研修（キャリア） 実施要項

1 目的

特定課題探究研修は、特定の教育課題にテーマを限定し、「自ら問いを立て、実践の振り返りや対話、知識の習得を重ねながら、実践を展開していくことで、自他の価値観に気付く」探究のプロセス全体を通して、課題を探究していく力の涵養をめざす探究型研修である。

学校教育においては、児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けるため、各教科・科目等の特質に応じたキャリア教育を充実させることが求められている。そのためには、教職員自身も自らのキャリアやこれまでの自身の実践と向き合い、今後の実践を試行錯誤しながら展開することが重要である。

本研修では対話や個人探究を中心とし、その中で生じる気付きを基に今後の実践を構想し、自身の教育実践を探究的に展開する力の向上を目的とする。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 期間

(1) 令和8年 7月1日（水）～7月2日（木）

(2) 令和8年 12月3日（木）

※本研修はインターバル型研修として実施するため、参加者は全日程の参加を前提とする。

5 実施方法 Web 会議サービスを用いた同時双方向通信によるリアルタイム・オンライン研修（「Zoom ミーティング」（(株)Zoom ビデオコミュニケーションズ）等を使用）

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部

7 標準定員 50名

8 参加者

(1) 参加資格

以下の者であって、今後、学校経営や教育実践において各地域の中核としての役割が期待される者
ア 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者

イ 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校（園）長、副校（園）長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び組織において中核としての役割が期待される教諭等

※「第6次男女共同参画基本計画」（令和8年3月13日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を25%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮されたい。

(2) 推薦人数

各都道府県教育委員会、各指定都市教育委員会、各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属学校を置く各国公立大学において1名程度とする。

(3) 推薦手続・推薦期限

推薦期限は、令和8年5月22日(金)とする。

推薦する機関においては、候補者を取りまとめて「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 参加者の決定

推薦する機関からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、参加者数を調整することがある。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に推薦順位を入力すること。

9 研修内容と研修期間中の学習活動について

内容については、別紙の「日程表」のとおりとする。

本研修は、いわゆる一方的に知識や手法を伝える講義型の研修ではなく、参加者が「自ら問いを立て、実践を振り返り共有しながら、知識や技法を身につけていくことで、実践を深め、自他の価値観に気付く」といった探究のプロセスを重視した研修である。

上記を踏まえ、参加者の推薦に当たっては、参加者が自主的に学習に取り組めるよう、十分な時間の確保等、研修効果を高めるための環境整備について配慮すること。

10 事前課題

事前課題については、参加者決定時に連絡する。

11 研修終了後1年後アンケートの回答について

参加者は、研修終了後1年後アンケートの回答を行うこととする。

※「研修終了後1年後アンケート」の回答方法については、別途通知する。なお、回答受付開始の詳細については、参加時に案内する。

12 その他

(1) 所定の課程を修了した参加者には、修了証書を授与する。参加者推薦の際に、必ず参加者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修では、「Google Workspace」を利用する。利用に際し、Google アカウントや簡易マニュアルは当機構で作成し、参加者決定時に連絡する。

(3) 本研修では、Web 会議サービス「Zoom ミーティング」((株)Zoom ビデオコミュニケーションズ)を用いて同時双方向通信を行う。参加に当たっては、当該ソフトウェアのインストールやインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Web カメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。

(4) 参加者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な参加環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いします。

(5) 「全国教員研修プラットフォーム(以下、「プラットフォーム」という)を利用している自治体からの参加者に関しては、プラットフォームへの本研修の修了状況の登録を当機構で行う。

登録に当たって、参加者のプラットフォームログイン ID が必要となるため、プラットフォームを利用している自治体は、推薦を行う際に研修システムより候補者毎にプラットフォームログイン ID を入力すること。

(6) 本研修の参加に際し、特別な配慮が必要な者(障害、持病等)を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

令和8年度 探究型中央研修 特定課題探究研修(キャリア) 日程表 【リアルタイム・オンライン】

8:45	9:15	9:45	10:45	11:00	12:00	13:00	14:00	14:15	15:45	16:00	16:45
7月1日 (水)	受付	イン(異校種) ガト種 イロダ ダホ ンク ムシ ヨ ン	対話(60)	休憩	個人探究(60)	昼 休 憩	対話(60)	休憩	講義・協議(90)	休憩	リ フ レ ク シ ョ ン
			実践の捉え直し		「キャリア」や「キャリア教育」の捉え直し		個人探究の共有		キャリア教育の背景とその役割		
			事前に作成したキャリア教育実施状況を持ち寄り、自身の実践を基にグループで対話する。		「キャリア教育の手引き」や「平成23年キャリア答申」等の資料読解を通じて、「キャリア」や「キャリア教育」そのものを捉え直す。		個人探究で考えたことを基にグループで対話する。		講師:筑波大学 人間系 教授 藤田 晃之 キャリア教育の背景や必要性について、最新の情報に触れながら理解を深める。		

8:45	9:00	9:30	10:50	11:05	11:45	13:30	14:45	15:00	16:00	16:15	16:45
7月2日 (木)	受付	イン(同校種) トロダ クシ ョ ン	個人探究・対話(80)	休憩	対話(40)	個人探究(105) ※昼休憩60分を含む	対話・個人探究(75)	休憩	対話(60)	休憩	リ フ レ ク シ ョ ン
			自身のキャリアと向き合う		実践の捉え直し	今後の実践に向けて	同校種対話・再調整		異校種対話		
			自身のキャリアを4つの基礎的・汎用的能力の視点から見直し、グラフ化する。その後、それをもとにグループで対話する。		自身の実践をクロスグループで対話する。	これまでの気づきを基に今後の自身の実践を構想する。	個人探究での構想を同校種グループで対話的に相談し、再調整を行う。		個人探究で考えたことを基にグループで対話する。		

8:45	9:00	10:15	10:30	13:30	13:45	14:30	15:15	15:30	16:00	
12月3日 (木)	受付	イン(異校種) ガト種 イロダ ダホ ンク ムシ ヨ ン	休憩	対話(180) ※昼休憩60分を含む		休憩	個人探究(45)	対話(45)	休憩	実 践 に 向 け て リ フ レ ク シ ョ ン
				実践や気づきの振り返りの共有			自身のキャリアの在り方	異校種対話		
				新たなグループで自身の行った実践の経緯とその経過を語り、対話する。			自身の今後のキャリアについて考える。	個人探究で考えたことを基にグループで対話する。		

※ 現時点での予定となっておりますので、一部時間等を変更する可能性があります。